

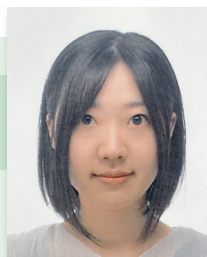
特集 4

高齢者に見られる 不眠の特徴と対応

我が国において高齢者の約3人に1人が何らかの睡眠障害を有し、その治療は薬物療法が主である。ベンゾジアゼピン系／非ベンゾジアゼピン系睡眠薬は多剤併用や長期処方の適正化が求められ、処方開始時の不眠症診断の確認、投薬によるリスク評価、睡眠衛生指導の重要性がくり返し唱えられている。不眠の背景には加齢に伴う心理社会的変化や精神・身体疾患の併存率の増加など複合的であり、その治療においては認容性低下を考慮した薬剤選択に加え、全人的アプローチが鍵となる。

キーワード

不眠、睡眠衛生指導、日中の機能障害、
長時間臥床



あまがい みさと
天谷 美里

東京慈恵会医科大学 精神医学講座
助教

共著



お ぞ ね もとひろ
小曾根 基裕

久留米大学医学部
神経精神医学講座 主任教授

語句解説

対 特集
談 1

特集
2

特集
3

特集
4

特集
5

特集
6

ホット・
World News

最新
トピックス

徒然なる
ままに。